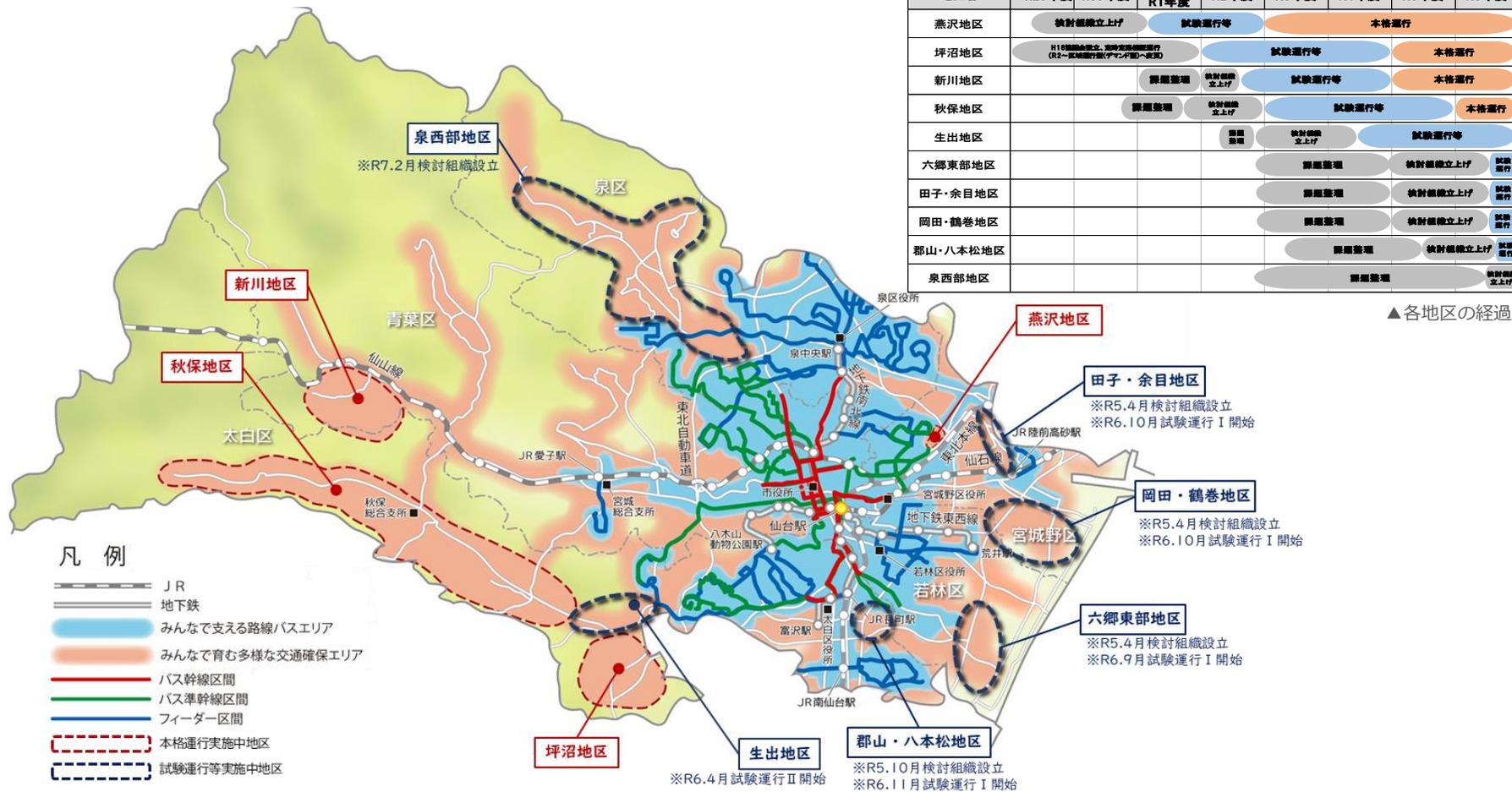


# 1 報告要旨

・本市では「みんなで育む多様な交通確保エリア」を基本とし、地域の主体となった移動手段の確保に向けた取り組みを支援しており、今年度は新たに5地区での乗合タクシーの試験運行を開始。また、新たに1地区で試験運行の開始に向け検討を開始している。

地区名	～H29年度	H30年度	H31年度・R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
燕沢地区		検討組織立上げ	試験運行等				本格運行	
坪沼地区		H19組織設立、臨時乗合タクシー等（R2～R3試験運行等）			試験運行等			本格運行
新川地区			課題整理	検討組織立上げ	試験運行等			本格運行
秋保地区			課題整理	検討組織立上げ		試験運行等		本格運行
生出地区				課題整理	検討組織立上げ		試験運行等	
六郷東部地区					課題整理		検討組織立上げ	試験運行
田子・余目地区					課題整理		検討組織立上げ	試験運行
岡田・鶴巻地区					課題整理		検討組織立上げ	試験運行
郡山・八本松地区						課題整理		検討組織立上げ
泉西部地区						課題整理		検討組織立上げ



・運行に必要な財源確保のため、**試験運行5地区及び検討中の1地区を対象とし、令和7年度国庫補助『「交通空白」解消緊急対策事業』の活用を検討**している。当該補助の活用にあたっては、仙台市交通政策推進協議会から東北運輸局への申請が必要となることから、今後、必要な手続きを行っていく。

## 2 令和7年度国庫補助『「交通空白」解消緊急対策事業』について

### 【概要】

何らかの対応が必要な「交通空白」(※)を抱える地域において、「交通空白」の解消に向けたサービスを実施するための仕組みの構築を支援

(※)国で実施された「交通空白」リストアップ調査に対し、仙台市においては、仙台市地域公共交通計画に定める「みんなで育む多様な交通確保エリア」を「交通空白」とみなすこととして回答し、受理されている。

### 【補助対象事業者】

公共ライドシェア・日本版ライドシェア等、新たに導入する交通サービスの運行主体（運行委託する場合を含む）となる地方自治体、交通事業者、NPO法人、観光協会、社会福祉協議会等又はそれらを含んだ協議会

### 【補助対象経費】

- ①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会・説明会等開催に要する費用
- ②サービス提供のために必要となる車両の導入、配車アプリ・運行管理等のシステム開発・導入、運転者募集等に要する費用
- ③実証事業に要する費用

### 【補助率】

500万円まで定額、500万円を超える部分は2/3（上限1億円）

## 3 今後のスケジュール

令和7年4月7日まで 当該補助へ応募

交付決定日（令和7年4月以降随時）～令和8年2月27日 補助事業を実施（補助対象期間外も運行は継続）